

てんだあ 第46号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2018年12月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



C **ONTENTS** ~主な内容~

- 第13回南房総市社会福祉大会…2P・3P
- 福祉作文 ……4P・5P
- 福祉ニュース ……6P
- 災害ボランティア活動について…7P
- ボランティアネット(和)ーク…8P
- ワンポイント介護…9P
- 善意の寄付、お知らせ…10P

当たったよ! 中身は何かな?

第6回南房総市ボランティアまつりでは、昨年に続き地域の商店や個人の方からの協賛品を募り、抽選会を開催しました。豪華賞品が並びそれをお目当てにくじ引きを待つ人でまつり会場は行列になり、くじを引いて当たった商品を受け取りながら、まわりの皆さんと一緒に盛り上がっていました。



コチョウラン

花言葉：幸福が飛んでくる



さあ広げよう！ つながりから始まるささえあいのまちづくり

第13回 南房総市社会福祉大会を開催

11月3日(土)千倉保健センターにおいて、第13回南房総市社会福祉大会が開催されました。

市内の福祉向上に貢献された方々や団体の皆さんへ、表彰と感謝状の贈呈、また市内小学校児童より応募のあった赤い羽根募金箱コンクール優秀作品の表彰、市内小中学校・高等学校から寄せられた福祉作文コンクール優秀作品の表彰がありました。また、小学生の部と中学生高校生の部からともに最優秀作品の生徒による作文発表があり、心温まる内容の朗読に、会場の雰囲気はいっそう和やかになりました。

式典のあとは、NPO法人つどい場さくらちゃん理事長丸尾多重子さんにより「パワフルおばちゃんをつどい場づくり奮闘記」いろいろな人とながると人生楽しくなる」と題した記念講演と続き、笑いあり涙あり感動ありのお話しに、どんどん引き込まれ、介護や地域づくりについて多くの参考を得ることができました。



地域福祉活動功労者の表彰

表彰された皆様おめでとうございます

南房総市社会福祉協議会長表彰 (敬称略) 〔地域福祉活動功労者〕

明石典子、石井久隆、菅沼弘夫、網代 裕
羽田百合子、辻 和夫、今須 昇、伊勢田
照子、安田淳一、堀江弘美、鈴木和枝、加
瀬和枝、佐久間喜代子、鈴木登志子

〔地域福祉活動功労団体〕

市部ボランティアチーム(富山地区)
平館むつみ会(千倉地区)
ふれあい喫茶「なごみ」(和田地区)

南房総市社会福祉協議会長感謝状 (敬称略) 〔団体〕

南総歌謡連盟(館山市)

〔福祉作文コンクール優秀作品表彰〕 小学生の部

最優秀賞 池田智哉 (三芳小)
優秀賞 本間愛波 (和田小)
松本 和 (和田小)
優良賞 蛭田花菜 (富山小)
相川穂乃花 (千倉小)
川田敦也 (南小)



福祉作文コンクール小学生の部表彰



福祉作文コンクール中学生の部表彰

中学生・高校生の部

最優秀賞 水上姫波 (嶺南中)
優秀賞 岩堀里緒 (富浦中)
井野百合乃 (富山中)
優良賞 松坂愛未 (富山中)
石井 凜 (千倉中)
猪原脩伍 (千倉中)

小学生低学年の部

デザイン賞

アイデア賞



若王子結奈 (富山小)

鈴木結子 (南小)

石井海璃 (千倉小)

小川ひかり (白浜小)

平井翔大 (南小)

赤い羽根募金箱コンクール優秀作品表彰 (敬称略)

小学生高学年の部

デザイン賞

アイデア賞



蛭田花菜 (富山小)

島津和花 (和田小)

池田海菜 (南三原小)

柴田美玲 (富山小)

岡本真結 (富浦小)

講演 念

「抱えない介護」のために「ひとごとつながる
「まじくる場」づくりを！」

NPO法人つどい場さくらちゃん理事長

まるお 丸尾 多重子さん たえこ

「つどい場さくらちゃん」を立ち上げたきっかけは、家族三人の介護やヘルパー講座の受講を経て、「つどい場」の大切さを痛感した事と語る丸尾多重子さん。その立ち上げから13年目を迎えた、まさに「パワフルおばちゃん」です。「つどい場さくらちゃん」には、立場が異なる方々が集まり、「一緒にご飯を食べて、感情の吐露と新しい情報を得ることが出来るかけがえのない人が集まる「まじくる場」となっています。そこから、心や体が不自由になってもサポートしてくれる人と一緒に外食や旅行に出かける「おでかけタイ」・介護や医療について学び合うための講座を開く「学びタイ」・介護保険では叶えられない介護している人のリフレッシュを目的にお年寄りの見守りや話し相手をしたり、介護者の外出を叶える「見守りタイ」を実施しています。その内容とともに、テレビ番組の「報道特集」にも取り上げられた「介護を支えるつどい場」と題した活動の模様とつどい場に集まる方々を紹介したDVDをユーモアいっぱいに解説され、「つどい場さくらちゃん」に通う高齢者を、家族とともに集う地域の人たちで看取る場面では、会場内で涙をぬぐう人の姿も多くみられました。



いろいろな人たちがつどい「つどい場」はおもしろい

育まれる、福祉の心、福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「おもいやり、たすけあいの心」をテーマとした作文362編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

最優秀賞 《小学生の部》

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん

南房総市立三芳小学校

3年 池田 智哉

ぼくのおじいちゃんは今、かいごせつでくらしています。

おじいちゃんが元気だった時は、いっしょに田んぼに行ったり、ぼくのしゅく題の音読を聞いてくれたりしました。ぼくは、おじいちゃんが大すきです。

ぼくが二年生の時、おじいちゃん、週に一回かいごせつに行くとようになりました。そのじき、ぼくたちの学年が、かいごせつに行つて、げきやダンスをひろうするといふ行事がありました。

おじいちゃんをはじめとお年よりのみなさんは、とてもよろこんでいました。みなさんが楽しそうだったのでぼくも楽しくなつてきました。お年よりも子どもも、みんな、えがおになれてうれしかったです。

それから何か月かたつて、おじいちゃん、ほかのかいごせつでくらすようになりました。六

月には、そのしせつの運動会がありました。お年よりに百メートル走をやらせるわけにもいかなので、すわつたままできる玉入れや、しゅくいんの人たちのかり物きよう走をやつていました。ぼくも少しだけさんかさせてもらうと、みなさんとてもよろこんでくれました。かいごせつのしゅくいんの人たちは、お年よりに楽しんでもらいたいという思いがあるのだと思いました。

ぼくは、おばあちゃんも大すきです。

おばあちゃんは、お父さんとお母さんがしごとをしているので、ぼくの学どうにむかえに来てくれます。あと、平日の夜ごはんも作つてくれます。ぼくのぐあいかわるい時にはびょういんにもつれていつてくれます。お母さんがしごとから帰つてくるまで、かんびようしてくれれます。おばあちゃんは、ぼくたちのことばかりしてくれて、自分のしたいことができないのではないかと思ひます。だから、おばあちゃんに自分の事をたつぷりできる時間をたくさんあげたいです。おば

あちゃんが楽になるように、自分のことや、おてつだいをどんどんしたいです。

八月十二日に、おじいちゃんとおばあちゃんのかつこん五十年をお祝いする金こん式がありました。おじいちゃんも、この日はしせつから来ることができました。おじいちゃんとおばあちゃんの子ども、まご、ひまごが全い人大集合して計十九人が集まりました。おじいちゃん、おばあちゃんのために全いん集まるということとは、みんな、おじいちゃんとおばあちゃんが大すきだということだと思ひます。

その日は、まず、みんなでしんをとりました。おじいちゃんとおばあちゃんは、そこそこ、いえがおでした。次に、みんなでお話しながらお昼ごはんを食べました。その時に、ぼくがしんをしました。みんなわらつていました。とても楽しい時間でした。おじいちゃん、今は、はなれてくらししているけど、ぼくの家ぞくです。おじいちゃんとおばあちゃんには、いつまでもけんこうに生きてほしいです。

最優秀賞

《中学生・高校生の部》

壁の先

南房総市立嶺南中学校

3年 水上

姫波

あなたは会話ができない人とコミュニケーションを取つたことがありますか。そもそも取りたいと思ひますか。

「久しぶりー、元気だった？」私の叔母は小児脳性マヒという障害を持っています。相手の言うている言葉は理解することができませんが、自分の口で会話したり、自由に体を動かすことはできません。時には、言っている側の言葉はわからないと思われ嫌な事を言われる場合もあるそうです。「会話できないから何だ」



福祉作文小学生の部
最優秀賞 池田 智哉さん

と私は思います。決してこちらの言葉に返してくれるわけではありませんが、私は叔母と会話する時間が大好きです。私が嬉しかった話をすれば同じように嬉しそうな顔をしてくれます。「ありがとう」と伝えれば、少し照れくさそうにします。障害があっても、人間同士の壁というものはずぐにこわすことができるのです。だからこそ私は皆さんへお願いがあります。どうか、障害者の方との壁を破ってみてください。その先にはきつと、障害なんて関係ないただの『会話』が生まれます。少しでも良いので、新しい世界をのぞいてみてください。

二〇二〇年にはいいよいよ、「東京オリンピック・パラリンピック」が行われます。車いすテニスの上地結衣選手や水泳の木村敬一選手などたくさんの方が今、世界中で活躍されています。東京パラリンピックでもメダルを獲得できるか大いに期待されています。世界で戦い、その中でもトップ選手となり輝き続ける姿はとてまかつこ良いと思います。きつと嫌な思いや悔しい思いもされたと思いますが、こうして戦っている皆さんを私は誇りに思います。日本人が活躍すれば喜ぶ人はたくさんいる

と思います。それが障害者競技だとしてもです。人の努力している姿あきらめない気持ちに胸を打たれるのは私だけでは無いと思います。人ががんばっていれば応援したくなります。パラリンピック競技というのは本当に大変だと思っています。私はバレーボールをしています。私は「シッティングバレー」というパラ競技があります。それは、おしりを浮かせずにバレーボールを行うということです。私も挑戦したことがあります。ネットスポーツのため身長が大変影響します。日本人は比較的身長が低いのでとても不利です。その中でも戦っている姿は私の励みにもなります。この人達ががんばっている、私が諦めてどうすると自分を考え直すきつかけにもなりました。人に元氣



福祉作文中学生の部
最優秀賞 水上 姫波さん

と勇気を与える事ができる皆さんは本当にすごいと思います。障害者だからではなく、障害者にしかできないことをたくさんしていると思います。そんな皆さんが少しでもがんばれるようにエールを送りたいです。みなさんも一緒に、東京パラリンピックをぜひ盛り上げましょう。みなさんのエールはきつと選手に届くはずで。

この世の中は、まだまだ不便なことがたくさんあります。例えば、スマートフォンが多く使われるようになった今、その技術を別の事に使ってみるのです。障害者、私の叔母のような場合は体が自由に動かせません。ですが相手の言っている言葉の意味はわかっていけるのです。ならばそれが伝わるような機械を作ればいいのではないのでしょうか。体の変化に合わせて心情や大まかな言いたいことがわかる機械。そのようなものがあつたらどれほど良いでしょうか。健常者の方が何となく遠ざかってしまう理由の一つに相手の意志がわからないというのがあると思います。ならばそれをわかるようにすればいいのではないのでしょうか。技術がどんどん進化していくこの世の中で、逆にチャレンジしないというのはどう

でしょう。何もかもできるかも知れないのなら、どんどんチャレンジしていってほしいです。それは大人だけではなく子供にも。この世界の未来を創っていくのは子供だから。少しでも興味を持ってチャレンジしてほしい。いや、チャレンジしていきたくない私も。明日何が起こるかかわからないこの世の中で見たいのです。日本のいや世界を変える光を。

私が叔母と顔を見合わせて話すようになったのはここ一、二年です。それまでは、あまり良い印象を持っていませんでした。そんな私が変わったのは母のある一言でした。「ちゃんとこつちが言ってるのは全部わかっているんだよ。」

私はこの言葉を聞いて衝撃を受けました。そっか、ちゃんと会話できるんだと知りました。そう思った瞬間、過去の私がとても恥ずかしくなりました。私は結局対等に思っていないかっただのです。障害者だからという気持ちか心の中心にあつたのです。しかし、何か私の中ですとんと落ちました。あれ、何で私避けていたのだろうと。そこから私は叔母が大好きになりました。だからあなたも一度顔を見てください。きつと無邪気に笑っています。

FUKUSI NEWS

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介いたします。

10月13日

山々も色づき平群のまち せまる！

平群地区社協が天神社清掃



キレイになった神社でお祭りを迎えます

「ばかばやし」や花火で知られる平群のお祭りは、富山地区にある平群天神社の例祭です。この清掃活動は、平群地区の祭礼を前に、旧平群小学校の児童が行っていたものを平群地区社協が引き継いで行っている活動です。あいにくの空模様にも関わらず、地域の子ども達や保護者の方など100名の参加があり、みんなで協力して地元の平群天神社をキレイにし、お祭りを迎える準備ができました。参加した子ども達からは、「キレイになってよかった。」「お祭りが来るのが楽しみ」と、みんなお祭りが待ち遠しい様子でした。

10月15日

おじいちゃん、おばあちゃん一緒に遊ぼう!!

北三原地区社協ふれあい交流会



誰が一番に抜けるかな？

北三原地区にお住いの高齢者の方々と、南三原小学校3年生・南三原幼稚園児とが集うふれあい交流会を行いました。午前は高齢者と小学生が、昔の遊びのおはしき・お手玉・めんこ・あやとりと一緒に楽しみました。午後は幼稚園児と高齢者との手遊びの交流で、高齢者の方が「小さいお手々でたいてくれてありがとうね。肩が楽になったよ」と感謝の声かけがありました。最後に和田民舞の会の踊りや南房ハーモニカサークルによる演奏、それから参加者全員での合唱もあり、楽しい時間を過ごしました。

社協の敬老記念祝賀事業

敬老の日は、長年にわたり社会に尽くされた高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする日です。

9月25日・27日

百歳を祝い「長寿のもとを訪問」

社協会長が肖像画贈呈

本会では敬老の日にちなみ市内の満百歳を迎える20名の方に油彩の肖像画を贈呈しました。「いつまでもお元気で過ごして下さい。」とお祝いの言葉とともに渋谷会長から手渡されたご自身の肖像画を目にされ、ご当人はもとよりご家族も「長寿の記念になります。」



鈴木喜美子様
一緒に暮らしているご家族と

ありがとうございます。」と喜ばれていました。これからも健康に留意され、ますますのご長寿をお祈りいたします。

10月26日

ともに歩んだ道のりを振り返って

結婚50周年記念品贈呈式



50年間の思い出がよみがえってきます

結婚50周年記念品贈呈式が千倉保健センターで開催され、33組64名のご夫妻が出席しました。記念

撮影のあと、早川敏男副会長から記念品とお祝いの言葉が贈られました。代表のご夫妻から50年を振り返った当時の思い出は、「病気の時など二人で支え合ってきた」「仕事で長期家を空けている間、妻が家庭を守ってくれ、感謝している」「など、心温まるエピソードを語って頂きました。出席されたご夫妻は、感慨深くうなずいて二人で歩んだ50年間を一緒に振り返り、喜びを味わっておられました。



知っておこう！ 災害ボランティア活動

阪神淡路大震災は「ボランティア元年」とも呼ばれ、災害ボランティア活動が世間にその名が定着した年でした。その後も東日本大震災や最近では熊本地震や北海道胆振東部地震、西日本を中心とした豪雨災害などが記憶に新しいと思います。

そのような中で、災害時におけるボランティア活動は被災地での復旧や復興の大きな力となっており、今ではなくてはならない存在となっています。

災害時にボランティア活動へ行く前に！

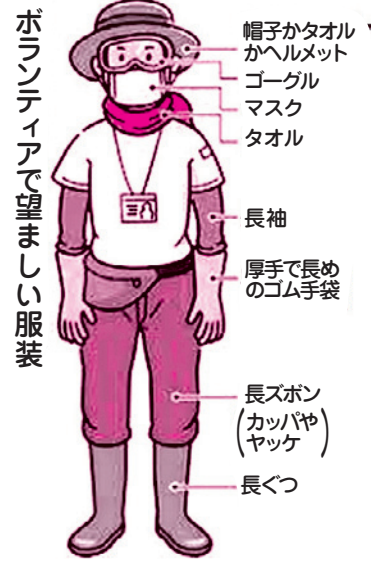
災害ボランティア活動には大きな期待が寄せられる一方で、被災地の人の負担や他のボランティアの迷惑にならないように、ボランティア一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

災害ボランティア活動に参加する際の基本的な注意事項となりますので、今後の活動の参考にしてください。

- ① ボランティア活動保険（天災タイプ）に入る。（できるだけ出発地の社協で加入）
- ② 被災地の情報を収集する。（ホームページ・SNS・電話等）
- ③ 被災地で活動する際の宿所や、水、食料等はボランティア自身で用意する。
- ④ 安全や健康面に気を付け、体調が悪ければ中止する。
- ⑤ 活動にあたっては、被災地の災害ボランティアセンターでボランティア活動の登録をする。
- ⑥ 被災地では、災害ボランティアセンターやボランティアコーディネーター等、現地の受け入れ機関の指示に従い活動する。
- ⑦ 被災した方々の気持ちやプライバシーに十分気を付け、マナーある行動と言葉使いで接する。

災害時ボランティアセンター運営の三原則

- その一、被災者中心
- その二、地元主体
- その三、協働



南房総市社協の災害ボランティア活動

南房総市社協では、災害時にお互い助け合う「災害ボランティアの養成」や、「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」などを実施し、いつ発生するかわからない災害に備え日頃から訓練をしています。

◆災害ボランティアの募集

今後の地域の災害支援について共に考え、災害ボランティア活動を一緒に取り組んでいただけるボランティアを募集しております。

【主な活動内容】

- 災害ボランティアセンター 立ち上げ訓練の運営・協力
- 災害ボランティア養成講座の企画・運営等

ボランティア募集中

◆ボランティア活動保険加入手続き

南房総市社会福祉協議会では、ボランティア活動保険（天災タイプ）の加入手続きを行っています。被災地へ出発する前に、各福祉サポートセンターの窓口で加入手続きをしましょう。

※保証期間
加入手続き完了の翌日午前0時から、平成31年3月31日午後12時まで。

※保険料（1名あたり）

天災タイプAプラン	5000円
天災タイプBプラン	7100円

*詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

◆災害義援金の受付

★募金や観光も大切な被災地支援です★

【義援金受付場所】

- 本所または各福祉サポートセンター

義援金とは、被災者の方々へ、お悔やみや応援の気持ちを込めて贈るお金。

支援金とは、ボランティア団体やNPOなどが行う被災地支援に役立ててもらうお金。

第6回

南房総市 ボランティアまつり 開催



芸能発表も超満員!



お目当ての品物を探す、人々!!



欲しいお菓子はつれるかな?



みなみんは子ども達に大人気!

このまつりは、市内各区のボランティア活動をより多くの方に紹介する機会としてパネル展示や手作り製品の販売、バザーや抽選会、人形劇や絵本の読み聞かせ、ダンスや舞踊などの発表を行うイベントとして、今年で6回目を迎えました。昨年大好評だった抽選会、今年も協賛店、個人の方々から多くの豪華な協賛品の協力を頂きました。また、市の保健福祉部からも災害時の非常食の試食ができる防災ブース、脳の健康度を測定する「タッチエム」の開設、その他市内障害者の福祉施設の出展もあり、子どもから大人まで、また色々な方々が参加し交流する、大変にぎやかな「ボランティアまつり」となりました。

第6回ボランティアまつりが、9月22日(土)、白浜コミュニティセンターを会場に開催されました。当日は雨にも関わらず、多くの方々にご来場いただき大盛況でした。

広がり!

ボランティアの活動を「ポート

ボランティアネットワーク

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、各地区のボランティア団体を順次、ご紹介していきます。

地域みんなが支え手に!! 「社協のボランティア講座」

サマーボランティアスクール

1日目はボランティア活動の説明の後、ケアハウスリブ丸山から講師を招き、介護現場での話と車いすの使用方法について学びました。



ブレーキの位置を確認

サマーボランティアスクールは市内の中学生にボランティア活動や福祉について関心を持ってもらい、将来福祉の担い手が増えて欲しいという期待を込めて本会が毎年開催している講座です。

8月22・23日

中学生がボランティア体験で高齢者への理解を深める

閉校式で振り返りの際には「親が介護の仕事をしていて、実際の施設に行って体験する事ができて良かった。」「自分が車いすに乗るとどういう声掛けや操作が安心できるか知ることができた。」など色々な感想がありました。今年も20名の中学生が参加し、新たな発見や学びのある2日間となったことと思います。

2日目は市内の介護施設で直接高齢者の方とレクリエーションや、一緒に食事をするなど限られた時間の中でたくさん交流をしました。

相手の気持ちや好きなことを理解することで安心して過ごしてもらったり、家でも施設でも役割を持ってもらうことで生きがいにつながり、元気になってもらうなどの話を皆さん真剣な表情で聞いていました。

担い手養成基礎講座

本会が昨年より開催しているこの講座は高齢の方や障がいのある方でも日常生活のちょっとしたお手伝いをしてもらうことで、いつまでも慣れ親しんだ地域で生活を送れるよう、そのお手伝いとなる担い手を増やしていくためのものです。7月27日には「基礎講座」として、千葉県介護福祉士会の箱田氏の講義で高齢者の特徴や対応・対人関係などを学んだ後、高齢者世帯の生活をする上での困りごとという事例をもとにグループワークを行い、

発見!自分にもできる暮らしのお手伝い

7月27日・11月9日



暮らしの中の幸せを探しましょう

「掃除は手伝える」「ゴミ捨ては協力できる」「洗濯は一緒にやれる」など活発な意見が出ました。

11月9日には、「フォロアップ講座」として、七浦診療所の田中医師による「認知症サポーター講座」とりハリ八千倉の大橋理学療法士による「介護予防の遊びリレーション」講座があり、自分にもできるお手伝いがたくさんあることに気づけた講座になりました。



ホームヘルパーの
ワンポイント

かいGO
介護

日光浴について

朝起きたら日光を浴びましょう!

高齢の方にお話しを伺うと、多くの方が「夜眠れない。睡眠薬を飲んでいる。」と言われます。睡眠が充分でないと疲労回復がさまたげられたり、心のバランスを崩しやすくなります。そこで良い睡眠のためには、まず朝起きたら日光を浴びることを心がけてみてください。



目覚めて 30 分以内に日光を浴びることがお勧めで、カーテンを開けて朝日を入れたり、窓際で食事をするだけでも十分効果があります。毎日決まった時間に日光を浴びることで、14～16 時間後に眠りに入りやすく良い睡眠がとれる体内環境になります。どうぞお試しください。

介護についてのご相談は

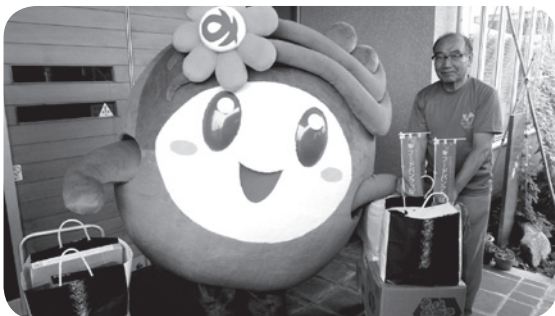
- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス ☎ 29-5021
- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター ☎ 29-5022

“もったいない” から “ありがとう”

第20回フードドライブに
ご協力ありがとうございました。

フードバンクとは、ご家庭に眠っている食品を募集し「フードバンクちば」を通じて生活困窮などで食事に困っている方へお渡ししている活動です。

南房総市社協では、その協力団体として平成30年10月に食品を募集したところ、市民の皆さんから171.1kgの食品をご寄付頂きました。生活に困っている方への支援として、食事は生活力の回復への大きな力となります。引き続き皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。



毎回たくさんのご協力を頂いています

ゆめを追いかける君へ
教育支援資金



教育支援資金は、低所得世帯を対象に、高校・高等・短大・大学へ進学する際に必要な経費および在学中にかかる諸経費として借りることができる資金です。

教育支援費 (授業料等の貸付)

対象となる学校	貸付限度額
高等学校	月額 35,000 円以内 (中等教育学校後期課程、地区別支援学校高等部、専修学校高等課程含む)
短期大学 専修学校専門課程 高等専門学校	月額 60,000 円以内
大学	月額 65,000 円以内

就学支援費 (入学に際し必要な経費の貸付)

対象となる学校	貸付限度額
高等学校、大学、短期大学、 専修学校、高等専門学校	500,000 円以内

※就学支援費の受付は入学時のみ

- 本資金は低所得世帯を対象としており、就学する本人が借受人となる貸付制度です。
- 民生委員が継続して相談支援をします。
- 他の公的制度（奨学金、母子寡婦福祉金等）が利用できる場合はそちらが優先になります。
- 貸付にあたっては審査を行います。

問い合わせ先 / お近くの福祉サポートセンターへ

たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略 / 平成 30 年 7 月～平成 30 年 10 月

第 6 回南房総市ボランティアまつりでご協力いただいた方々のご寄付

南房総市ボランティア連絡協議会	2,450円	平館むつみ会	1,000円
びわっこランチサービス	1,803円	わたげ会	1,000円
オレンジの会	1,378円	ふれあい喫茶「なごみ」	1,000円
もみじ会	2,000円	茶香会	1,000円

匿名 6件 138,628円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。ありがとうございました。

紙おむつを支給します

南房総市内に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベット上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護認定3・4・5の方 ・身体障害者手帳1級・2級の方 ・精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット(レギュラー) 尿取りパット(スーパーワイド) フラットタイプの内1品目

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で要介護4・5の方、介護をしているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税の世帯
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内

申込期限/平成31年1月25日(金)まで

給付月/平成31年3月

申込先/南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター
問い合わせ先/南房総市社会福祉協議会(本所)
または、お近くの福祉サポートセンターへ

お知らせ

無料法律相談

～法律に関することでお悩みの方～

時間/午後1時～午後4時

開設日	場 所	担 当
12月20日(木)	とみうら元気倶楽部	司法書士
1月24日(木)	丸山公民館	弁 護 士
2月28日(木)	三芳保健福祉センター	司法書士
3月20日(水)	和田地域福祉センター	弁 護 士

○事前予約申込：随時電話にて予約を受け付けます。
○定 員：6人(相談はおひとりにつき30分まで)
○その他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

予約・問い合わせ先:南房総市社会福祉協議会(本所)

☎ 44-3577

— 発行・編集 — (各種お申込み先)

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎ 44-3577 ㊚ 44-3542

- ◆とみうら福祉サポートセンター ☎ 33-4565
- ◆とみやま福祉サポートセンター ☎ 57-2926
- ◆みよし福祉サポートセンター ☎ 36-2276
- ◆しらはま福祉サポートセンター ☎ 30-5122
- ◆ちくら福祉サポートセンター ☎ 44-3541
- ◆まるやま福祉サポートセンター ☎ 46-2200
- ◆わた福祉サポートセンター ☎ 47-3390
- ◆ホームヘルプサービス ☎ 29-5021
- ◆ケアプランセンター ☎ 29-5022

みてみて!



facebook



twitter

